

土橋自然観察教育林臨時協議会 協議事項

開催日時：2013年6月11日（火）19：00～

開催場所：厚沢部町図書館視聴覚室

会 議 次 第

1. 開 会

2. 教育長挨拶

3. 協議事項

●樹名板作成案の再検討について

協議事項 樹名板作成案の再検討について

1. 経緯

先日4月15日に行われた第一回土橋自然観察教育林連絡協議会において、見本林整備事業の一環として樹名板の新規作成を行う事が可決されました。その樹名板について、すべての樹木について正確で適切な図や写真を用意する事が困難である事、また住民参加の場としての事業を利用してはどうかとの提案から、「フルカラーで樹名板を作製し、町民に描いてもらった樹木の絵を利用する」という案が最終的に採用される事となりましたが、この案について連絡協議会会員の鈴木さんから以下の意見および提案が出されました。

- 一. 一度作成すると何年も変更できないといった樹名板の性格を考えると、あえて「町民に描いてもらった樹木の絵を利用する」という形で住民参加型としなくてもよいのではないか。
- 一. どのような樹名板を作製するかは見本林の利用者や利用方法と関連してくるので、一度見本林の活用方法等について話し合い、ある程度の方針を決定してから樹名板の作成を行ってはどうか。
- 一. 上記のような事柄を協議するために、臨時の協議会を開催したい。

よって教育委員会では鈴木さんの提案を受け、「樹名板作成案の再検討」を通して今後の樹木見本林の活用方法等について協議するため、今回の臨時協議会を開催するものとなりました。

2. 樹木見本林について

(1) 概要 (別紙資料1参照)

かつて営林局が利用していた旧苗畑箇所に、国内樹種・外国樹種など88種を1966年から1970年にかけて植栽し、樹木見本林として営林署員の自己研鑽の場に利用されてきた。その後自然観察教育林として一般町民にも解放される事となったが、具体的な活用方針や活用方法については定められておらず、整備も不十分な事から利用者もほとんどないという現状に至る。

(2) 今年度の事業予定

- ・ 枝打ち・危険木等の除伐(11月)、つる切り・草刈り(随時)
- ・ 樹木の情報を記載した樹名板の設置(6月)
- ・ 樹木見本林内で樹名板と併用できる手持ち資料を作成

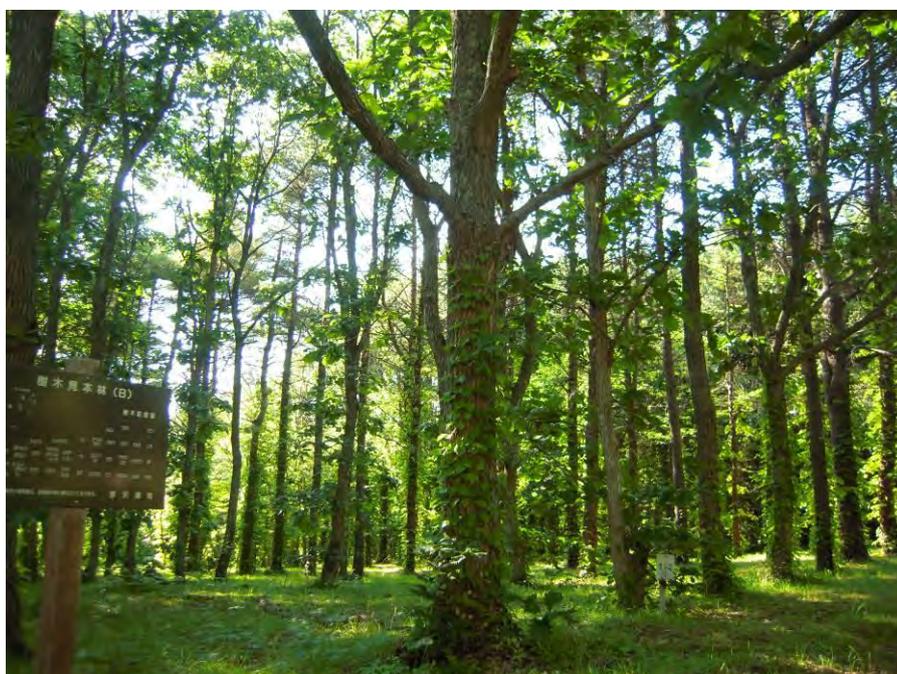
(3) 樹木見本林の活用例

- ・ 近隣の地域では自生していない樹木も多く、樹木について学ぶ場として観察会などで利用する。
- ・ 教育林内の代表的な樹種もまとめて植栽されているため、利用者へのガイドの際に樹木見本林内を案内する事で教育林の植生を短時間で解説できる。

写真1. 樹木見本林現況 あずまや付近



写真2. 樹木見本林現況



3. 樹名板デザイン案

(1)デザイン案について(別紙資料 2 参照)

利用者を一般利用者から学術関係者まで広く想定した上で、シンプルに最低限の情報を記載したものとした。このデザインを草案として、必要な情報をまず選定した後にカラーや配置など細かいデザインを決定する。

(2)記載する情報について

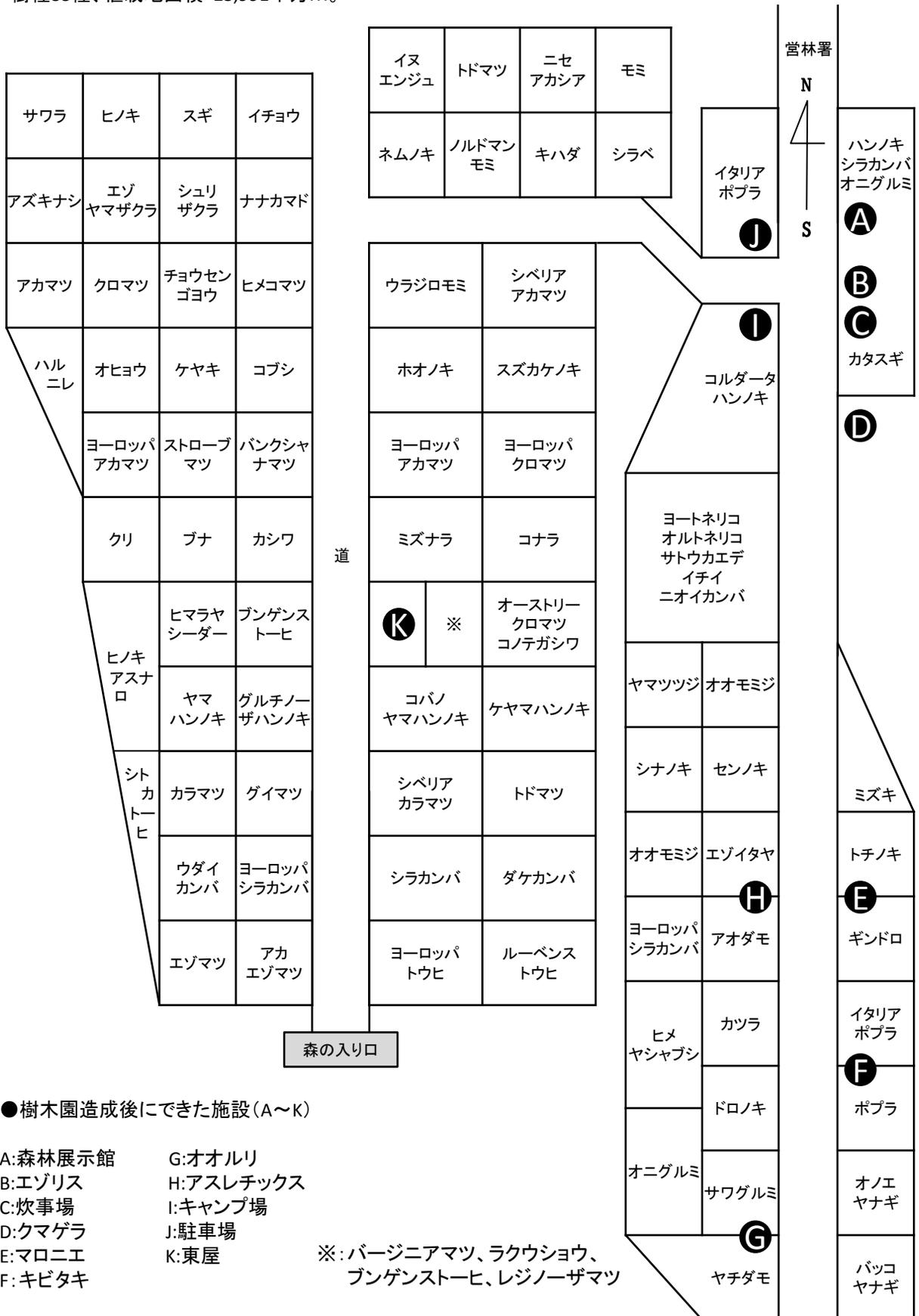
- ・基本情報として樹木の名称を記載する。
- ・樹木見本林には外国産樹種も多く混在するため、その特性を紹介するためにその樹種の産地を記載する。
- ・一般利用客がその樹木を観察する際に、特にポイントとなる樹木の特徴や観察の仕方（ニオイヒバなら「葉を揉むと良い香りがする」など）を数行で簡単に解説する。豆知識のようなものでもよい。

(3)想定される利用者

樹木に興味を持った一般利用者、案内人。

資料1. 樹木見本林概要

樹種88種、植栽地面積=23,991平方m。



● 樹木園造成後にできた施設 (A~K)

- A: 森林展示館
- B: エゾリス
- C: 炊事場
- D: クマゲラ
- E: マロニエ
- F: キビタキ

- G: オオルリ
- H: アスレチックス
- I: キャンプ場
- J: 駐車場
- K: 東屋

※: バージニアマツ、ラクウショウ、
ブンゲンストーヒ、レジノーザマツ

Pinus parviflora var. *pentaphylla*

キタゴヨウ マツ科マツ属

産地：本州（中部以北）、北海道

北五葉。本州から北海道南部の太平洋側に分布するゴヨウマツの変種で、特に正月の盆栽マツとしてなじみが深い。野生では岩石が露出する尾根上で優占する。